

Letters

レターズ / 加入者や保護者の皆さんから寄せられたお便りをご紹介します。

神奈川県

M・Sさん（母） M・Kさん（加入者）

♡お母さまより

この度は橋本給付金及び図書カードを誠にありがとうございました。

本日公立高校の合格発表があり無事に合格することができました!! 娘の頑張りを間近でみてきただけに本当に嬉しく感じています。いただいたお祝い金で入学準備をしていきたいと思います。夫が亡くなった時、幼稚園の年少さんだった娘がもうすぐ高校生になるんだなあと、しみじみ時の流れを感じます。11年、たくさんの方に支えられて生きてこれたこと本当に感謝しております。娘の高校生活が楽しいものになるよう私もお弁当作りなどががんばりたいです。

本当にありがとうございました。

♡加入者さまより

この度はありがとうございました!

発表までの2週間とても不安だったので、合格することができてすごく嬉しいです。

中学校では吹奏楽部に入っていて、高校でも続けていきたいと考えています。私が進学する高校は東関東大会にも出場している強豪校なので、高校生活がとても楽しみです!!

今、高校の数学を少しだけ勉強しているのですが、中学校の数学とは比べ物にならないくらい難しいので、ちゃんと追いつけるように頑張っていきたいです。ありがとうございました!

長野県

T・H（加入者）

この度、希望の高校に合格し、春から高校生になります。給付金は学費にあてて勉強やスポーツ頑張ります。ありがとうございました!!

大阪府

S・Jさん（母）

これまで多大なご支援をいただきありがとうございました。10年前突然主人に先立たれ、これからどうやって生きていこうかと模索していた時に、この基金のことを知り加入させていただきました。経済的な不安を取り除いていただいただけでなく、NASVAなどの新しい出会いやイベントなどに参加することで、当時、とても心強かったことを覚えています。

あれから10年、娘もしっかり成長(かなり生意気ですが)充実した毎日を送っております。このような生活(心の平穩)を送れているのもこれまでのご支援のおかげだと思っております。

本当にありがとうございました。母娘共々感謝しております。

匿名希望さん（母）

長年に渡り、支援していただきありがとうございました。毎年いただいた図書カードや映画券が本当に嬉しかったです。

今は無事大学に入学することができ、日々楽しく充実した学校生活を送れています。今、こうして楽しく過ごせているのも、長年支援していただいたおかげです。本当に今までありがとうございました。

福岡県

A・T（母）

長男が4歳の時父親が事故で亡くなり、この制度に巡り会い、それから15年お世話になりました。入学時には図書カードをいただき、毎回ありがたく使わせていただいております。大学受験では、辞書や参考書などを購入し受験も不安なく備えてあげる事ができました。

交通遺児育成基金に関わる全ての方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

長野県 N・Rさん（加入者）N・M（母）

♡加入者さまより

いつもお世話になります。給付金の完了のお手紙とともに図書カードを送っていただきありがとうございます。私は学校や県内の図書館をよく利用しますが、大学生活の中で本の購入も増えたので使わせてもらいます。

長い間、お世話になり、ありがとうございました。

♡お母さまより

今回、給付完了のお知らせをいただきました。

平成16年に夫を交通事故で亡くしてから、長らくお世話になりました。娘も息子もおかげさまで大学生になりました。コロナ禍でいろいろな制限はありますが、今の所、家族元気に過ごしています。

給付金は子どもを育てる中でたくさん使いました。教育の中で1つでも多く自身の身になることがあれば幸いと思っています。ありがとうございました。

埼玉県 T・Iさん（加入者）T・Sさん（母）

♡加入者さまより

長い間ご支援いただき、本当にありがとうございました。毎日楽しく、不自由なく過ごすことができたのは、このようなご支援をいただいていたからです。私は、幼い頃からスマイルズが届くのを楽しみにしていました。読むと心が温まり、沢山の方々に支えていただいていることを実感しました。この感謝の気持ちを忘れず、これからも前向きに励んでいきたいです。

♡お母さまより

この度、娘が19歳となり、育成給付金完了のお知らせをいただきました。

事故当時、娘は生後5カ月でこれからどうしようかと不安だらけでしたが、この制度に加入させていただき、たくさんの方々に支えられ、前を向くことができました。感謝しかありません。

長い間、本当にありがとうございました。

大阪府 N・Mさん（母）

息子が19歳になるまでご援助、ご支援をいただきありがとうございました。

金銭面で本人の希望をあきらめさせることなく次の進路にむかうことができました。去年は残念ながら志望大学に合格することができませんでしたが、今、再度挑戦中です。あきらめることなく再チャレンジさせることができました。ありがとうございました。きっと今年度吉報を信じています。

岡山県 H・Kさん（加入者）H・Y（母）

♡加入者さまより

12月に育成基金完了のお知らせをいただきました。たくさん図書カードをいただいて、本を読む機会が増えました。長い間、ありがとうございました。

♡お母さまより

育成基金様には大変お世話になりました。やっと1人目が19歳をむかえました。あと2人残っていますが…事故で主人を亡くしてから長かったようで短かったです。

色々ありましたが、家族で協力してここまで生活できたのも基金があったからだ感謝しております。これからもよろしく願います。

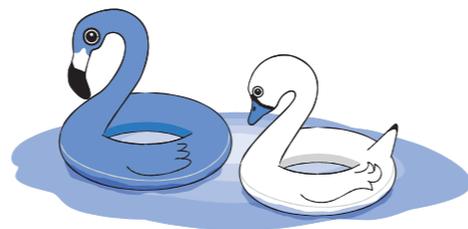
ありがとうございました。

長野県 T・Tさん（母）

無事に一番下が小学1年生。二番目が中学に入学します。

事故にあった時、交通遺児育成基金様にどれだけ助けられたかわからないくらい、見えない力でサポートいただきました。映画も見に行くことができたり、本を買いに行けたり。家族としてのあたり前の生活ができる喜び。本当にありがたいです。

今後ともよろしく願いいたします。



となりのレターズ

みんながとなりに寄り添う「もう一つ」のLetters

第10回となる今号は、当基金加入時に行った保護者様のアンケートに寄せられたご意見の中から多く見受けられたものを選定し、それに対して基金より回答させていただきました。私どもの活動内容をより深く知っていただくと同時に、皆様のご不安が少しでも解消していただければ幸いです。

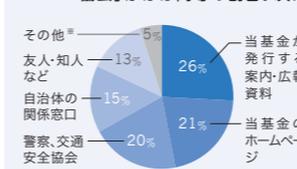
第10回 基金加入時アンケート結果より

基金からのメッセージ編

基金についてどのような方法で知りましたか？

(2019～2023年度 加入時アンケートより)

加入者の皆様が当基金について知っていたのは、私どもが発行する「案内・広報資料」や「ホームページ」、「警察や交通安全協会」がほぼ同等の割合。次に「自治体の関係窓口」「友人・知人



※その他＝担当弁護士、NASVA、自治体発行の冊子、学校の先生、WEB検索などを含む

など」という結果になりました。私どもはこの結果を踏まえ、今後も広報活動により努力してまいります。以下は、アンケートに寄せられた皆様のご意見です。基金からの回答とともに一読いただければ幸いです。

どんなところに基金の情報があるの？

加入者より もう少しこちらの基金を知れる場所を作ってほしい。事故後、遺族の方のブログや、交通事故で亡くなった場合等のネットを読みあさっていたが、半年過ぎてもこちらの基金に気づくことができなかった。(T・Kさん)

基金より このほか、「もっと早く入りたかった」という加入者様からの声も多かったです。当基金の周知不足を痛感しております。広報に関しましては、年4回発行している当広報誌「スマイルズ」を各自治体、教育委員会等に配付しており、全国の警察署にもパンフレットで周知にご協力いただいています。また、一昨年当法人のHPをリニューアルしました。対象となる方へ確実に情報をお届けできるよう、さらに広報に努めてまいります。

加入時の拠出金額が大きくて不安でした

加入者より 基金を初めて知る人には払い込み金額が大きいため、不安を感じてしまうことが多いと思います。(K・Sさん)

基金より 当法人の拠出金は高額なため、ご加入にあたってはご不安があったかと存じます。交通遺児等を支援する私どもの活動は、昭和55年から今日まで続いており、国の補助金等を財源に加入者様からの拠出金を

安全・確実に運用しています。今後も公益財団法人として、安心してご加入いただけるようさまざまな取り組みを行ってまいります。

基金に加入することで心強くなりました

加入者より 子どもはまだ小さく、賠償金から切りくずして生活していくのに不安がありました。基金に加入して定期的に入ってくるお金があるだけで、安心感が違います。ありがたいです。(T・Rさん)

基金より そのように思っただき、大変ありがたい存じます。当法人は基金加入者の皆様からの拠出金に国の補助金等を加えて運用し、お子様が19歳になるまで育成給付金を給付。また、小・中・高校に入学される際には「橋本給付金」として6万円を、さらに19歳になり育成給付金が終了する際には「完了給付金」として3万円を給付しています。令和2～4年には「新型コロナウイルス特別給付金」など社会情勢に応じた給付金の給付も行いました。今後も加入者の皆様にできる限り寄り添う活動を続けてまいります。

加入者より 交通遺児等の家族との交流を通して、悩みを共感できたり、励まし合ったりできるそんな場が今後の活力にもつながるだろうと期待しております。(M・Yさん)

基金より 基金加入者様同士のご交流に関しては、本誌「スマイルズ」の「レターズ」コーナーにて行われています。紹介させていただいたお便りに対しては、毎回多くの共感メッセージが寄せられており、好評をいただいております。また、「NASVA」主催の「交通遺児友の会」にもご入会いただいた加入者様に関しては、地域ごと異なるさまざまなイベントに参加していただくことで、多くのご家族の方々と交流していただいております。M・Y様も、よろしければぜひご参加ください。